

## 平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立小野田小学校長

平成31年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語と算数の2教科を実施しました。

昨年度までは、「国語A」、「算数A」（主に知識に関する問題）と「国語B」、「算数B」（主に活用に関する問題）に分けて実施してきましたが、今年度より、それらが1つにまとまった調査を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、並びに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、御理解と御協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることを御理解ください。

### 【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	63.8%					○
算数	66.6%					○

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	72.3%					○
書くこと	54.5%					○
読むこと	81.7%					○
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	53.5%					○

【考察】

- 「話し手の意図をとらえながら自分の考えをまとめる」問題がよくできていました。話し合いをするときに、友達の意見を自分の考えと比べながらよく聞き、質問したり、自分の考えを見つめ直したりするという時間を授業の中で設定してきた成果の現れです。
- 「漢字を文の中で正しく使う」問題に課題が見られました。文や文章を書く際には漢字のもつ意味を考えながら使ったり、間違えやすい漢字については、漢字辞典を使って意味を調べて短文作りをしたりする学習を取り入れて、文や文章の中で正しく使うことができるように指導していきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	63.2%					○
量と測定	52.9%					○
図形	76.7%					○
数量関係	68.3%					○

【考察】

- グラフや表の読み取りに関する問題がよくできていました。算数科に限らず、他教科でも目的に応じてグラフをつくったり、複数のグラフを関連付けて考えたりすることができる力をつけるため、資料を目的に応じて活用する機会を取り入れてきた成果の現れです。
- わり算が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりする問題に課題が見られました。わり算の式と具体物や図、数直線などを関連づける活動を取り入れて、式が何を表しているのかを振り返り、式の意味について理解を深めることができるよう指導していきます。

**平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査  
質問紙調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立小野田小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、その結果及び考察の一部をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や読書の様子など家庭生活に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、是非、御家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、て、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

1 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

		している	どちらかとい えばしている	あまり していない	全く していない
小	全 国	33.1	38.4	23.0	5.5
6	小野田小	36.4	63.6	0.0	0.0

(単位 %)

**【考 察】**

- 「自分で計画を立てて勉強をしています。」と答えた児童が昨年度に比べ増えました。学級活動などで学習や生活の目標、計画を立てる機会を設けたり、「パワーアップカード(生活連絡カード)」を活用し、「やってみたい」「知りたい」という学習課題へのアドバイスを継続したりしてきた成果です。
- さらに日常生活において、学習や生活を振り返るように声かけをしたり、東地区の「家庭学習のすすめ」や「ふくしまの家庭学習スタンダード」を活用しながら、自己の学習内容や方法を見直させたりし、マネジメントする(自己管理)能力を育てていきます。

2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	12.4	16.9	36.8	24.1	7.6	2.3
6	小野田小	0.0	0.0	81.8	18.2	0.0	0.0

(単位 %)

**【考 察】**

- 家庭学習をする習慣が身についています。全校生で「宿題100%調べ」や「パワーアップカード(生活連絡カード)」を継続して実施してきた成果です。引き続き、東地区で取組んでいる「家庭学習のすすめ」を用いて、自主的な家庭学習の仕方を指導していきます。

- 家庭学習は、学校と家庭・地域の協力が不可欠です。「ふくしまの家庭学習スタンダード」を活用しながら、〈心の支え〉(お子さんのノートや学習プリントを見て、頑張った過程を認める)〈環境づくり〉(テレビを消し、お子さんが集中して学習できる環境をつくる)〈習慣作り〉(家族みんなで規則正しい生活をする)の3つを心がけ、学校と家庭・地域が連携して児童の育成を図っていただけるように、引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。

3 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、読書を行いますか。

		2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	10分以上 30分未満	10分未満	全くしない
小	全国	7.0	11.3	21.5	25.9	15.6	18.7
6	小野田小	0.0	18.2	36.4	18.2	27.3	0.0

(単位 %)

【考察】

- 昨年度と比べると、「1時間以上読書をしている」と答えた児童が増えました。担任や学校司書が図書室で本を借りるように呼びかけたり、今年度も「ビブリオバトル」を開催したりと、本に親しむ機会を多く持ってきた成果の現れです。質の高い読書活動になるように、学校司書からどの本を選べばよいかなどのアドバイスをもらい、引き続き学校全体で読書活動に力を入れていきます。
- 家庭との連携による「メディアコントロールデー」の推進により、読書時間の確保と充実に努めてまいります。

4 あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか。

		当てはまる	どちらかといえ ば当てはまる	どちらかといえ ば当てはまらない	当てはまらない
小	全国	30.1	43.9	20.3	5.6
6	小野田小	100.0	0.0	0.0	0.0

(単位 %)

【考察】

- 学級活動の授業や学級での話し合いを通して、一人一人の児童が合意形成のプロセスを経験することができるよう指導してきた成果です。引き続き、児童自らが、学級の諸問題を自分自身の問題として考え、話し合えるような場を設定し、指導してまいります。
- さらに、各教科等でも互いの意見のよさを生かして、様々な課題解決に生かすことができるように、指導方法の改善に努めてまいります。